長野市民新聞
4月7日㈫
長野市民新聞社
編集・管理
編集制作センター
〒380-0943 長野市安茂里1029-1
フリーダイヤル
0120-06-5511
TEL 223-5511 FAX 223-5500
shiminm@avis.ne.jp
南長野支社
〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田1295-3
TEL 299-5988 FAX 299-5977
minamis@grn.janis.or.jp
広告
〒381-0024 長野市南長池138
TEL 251-1546 FAX 222-2533
©長野市民新聞社 2020

篠高 独自に海外研修

マレーシアへ

篠ノ井高校は本年度から、生徒10人程度を毎年マレーシアへの海外研修に派遣する。18年（平成30）年度に同国に高校生大使を派遣した外務省の事業に同校生徒が参加して視野を広げ、主体性を育む機会になったことから独自に企画した。当初は19（令和元）年度中に第1陣を送る予定だったが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大で今秋以降に延期した。

マレーシアの生徒とテレビ電話で会話する篠ノ井高校生（2月中旬）

秋以降 毎年10人ほど

学校訪問や世界遺産視察

計画では同国の2～3都市を巡って約8日間滞在。18年度の派遣事業を機に交流している中高一貫校で現地生徒と交流する他、多宗教・多民族が入り交じる世界遺産の都市「マラッカ」を視察する。2年生を中心に募り、参加動機や英語力などを基準に選抜する。

外務省は18年度、3高校を選び、対日理解を促すため東南アジア3カ国にそれぞれ派遣。同校からはマレーシアに生徒16人が訪れた。同校によると、これを機に校内では19年度に英語検定2級取得者が前年の3倍となる約70人に増え、「海外に対する生徒の意識が高まり、発信力や表現力も上がった」という。

今回の海外研修はこれらの成果を維持していこうと、19年度まで同校校長を務め、3月末で定年退職した岩田学さん（60）が中心となって企画。生徒が日常的に現地とインターネット回線でテレビ電話ができるように、2月には1、2年生の教室と特別教室の計26室に無線LAN「Wi-Fi（ワイファイ）」を導入した。

岩田さんは「世界の文化を肌で学び、『世界の中での日本人』としての物事の考え方ができる人間に育ってほしい」と期待している。

察会が毎年全額を負担する。参加者は大学受験まで余裕のある1、2年生を中心に募り、参加動機や英語力など

赤沼・子供向け外遊びの場

公会堂近くに移転

毎週日曜に

昨年の台風19号で被災した長沼地区・赤沼の民間駐車場に開設されていた子供向け外遊びの場「ながのあそびずくしプレーパーク」が、赤沼公会堂近くの原っぱに場所を移し、5日に再スタートした。駐車場は舗装されていて子供の遊びに不向きだったため。被災者支援に取り組む市内外の男性2人が公益社団法人から運営を引き継ぐ。開催日は土・日曜日の週2回から日曜日の週1回に減らす。

2人は、県内で子供の遊び場づくりにそれぞれ取り組む中根大祐さん（44）＝三輪＝と半田裕さん（35）＝諏訪郡原村。新たな活動場は、旧会場から約1キロ北東にある被災民家の元果樹畑約500平方㍍を借りた。毎週日曜日の午前10時～午後3時30分に出入り自由・参加無料で開く。けん玉やおもちゃを用意し、2人の他、ボランティアスタッフが子供の遊び相手をする。

同プレーパークは、公益社団法人「シャンティ国際ボランティア会」＝東京＝が1月、北部スポーツ・レクリエーションパーク＝三才＝の避難所閉鎖後の子供の居場所確保や心のケアのため開設。2人は避難所内に設けた遊び場運営に携わった縁で、プレーパークでも子供の遊び相手をしてきた。

同法人が3月末で現地での復興支援活動を終えたため、2人で任意団体「冒険遊び場ネットワーク信州」を設立し、運営を引き継ぐことにした。資金は同法人から支援を受ける。

初日は近くの児童5人が、伸縮性のあるベルト上に張る「スラックライン」やけん玉を楽しんだ。自宅が浸水被害に遭った長沼小3年生の深瀬莉都さんは初めて訪れ、「外遊びは皆で楽しめる。今後も参加したい」と笑顔を見せていた。

半田さんは「子供が言葉で表せないストレスを遊びの中で発散させたい」と話している。プレーパークは赤沼以外からも参加できる。問中根さん（☎090・4722・3649）。

中根さん（左）らとスラックラインを楽しむ児童

感染対策万全に 笑顔の入学式

4・5面

利活用推進・まちづくり
創立一五周年感謝事業を始めています！
空き家管理
長野市認定 No.7 HPに
金の卵を高らせない！
実費のみで承ります
（消費税ナシ）
登録料1,000円
長野市西三才2184-1
NPO法人 ホットライン さんさい駅前シエン
TEL.251-3131